

# SILK JOURNAL 2020

1000年を超えて、ソーシャル・イノベーションし続ける街  
KYOTO CITY = The Social Innovation City lasting over 1000 years

## 日本を代表するアート「風神雷神図」は 商いの現場から生まれました

作者である俵屋宗達は、江戸時代初期、京都で扇絵や屏風絵などを制作販売する工房を営んでいました。宗達が描いた「風神雷神図屏風」の、従来の枠にとられない構図や主題、技法は、絵画界に新風を吹き込みます。後に尾形光琳らがこの作品から学びを得て、琳派の発展へとつながりました。絵師たちにより時代を超えて継承されてきた、風神雷神図。先達の作り上げた表現を汲み取りつつ、時代ごとに独自の解釈が加えられ、様々な作品が生まれました。

## SILK JOURNALとは

近年、日本はもとより世界中で、利益や効率性のみを追求するのではなく、「社会的課題を解決すること」「社会的課題を生まないこと」を目指すビジネスや暮らし方をする人が増えています。私たち京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)は社会的課題に対する革新的な解決法を開発することがソーシャル・イノベーションであると考えています。京都市で起こっているソーシャル・イノベーションをまとめたレポートとして、SILK JOURNALを発行します。

**SOCIAL  
INNOVATION  
LABORATORY  
KYOTO**

京都市ソーシャルイノベーション研究所

# あらゆるビジネスが

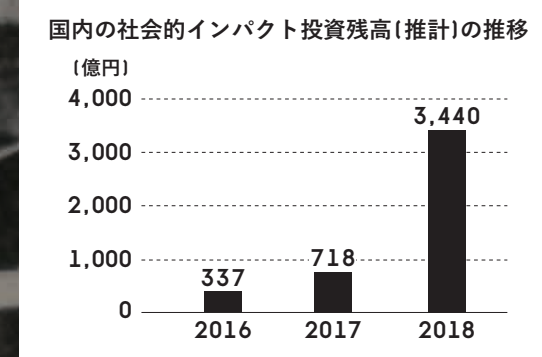
# 社会課題を無視できない時代へ

# 多様な関係者が交わり合う

# オープンイノベーション2.0が

# 世界中で広がっています

社会や環境に配慮したインパクト投資は、世界2,390億ドル規模に。国内でも3,440億円規模へ急成長。



社会的インパクト投資とは、従来の目的である金銭的リターンに加えて、社会や環境へのインパクトを生み出すことを意図する投資です。GIIN (Global Impact Investing Network)\*1によると、2018年度末での世界のインパクト投資残高は2,390億ドル、2018年に新たに投資されたインパクト投資は13,303件、331億ドル。特にリーマンショック以降は、市場への新規参入が続いています。日本国内では、2018年度のインパクト投資残高は推計3,440億円。2016年度(337億円)比で約10倍、2017年度(718億円)比で約5倍の成長率を記録しました。\*2

\*1 GIIN 「2019 Annual Impact Investor Survey」  
\*2 GSG 国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2018」

複数の組織・チームの連携によって起こる「オープンイノベーション2.0」



オープンイノベーションは、外部との交流による技術やアイデアなどの流出入を積極的に活用し、その結果、組織内で生まれたイノベーションを市場に展開する機会を増やすことで実現します。欧州では、イノベーション創出の前提として、これまでの1対1の外部連携による「オープンイノベーション1.0」ではなく、複数の関係先が相互に混じり合う連携体制である「オープンイノベーション2.0」の重要性が提唱されています。\*3

\*3 NEDO 「オープンイノベーション白書(第二版)」

都市のソーシャル・イノベーションの鍵となる「スタートアップ・エコシステム拠点」



欧州では、イノベーションの前提条件として①「社会的な共通課題の解決」というソーシャルイノベーション創出を目的とする必要があること②多様な主体が連携・共創するエコシステムを構築する必要があることの2点が指摘されています。世界では、イノベーションの聖地といわれるシリコンバレーのみならず、「フレンチ・テック」を旗印に世界各国に進出するフランスや、イスラエル、中国深圳など、各国・各地域間でのスタートアップ・エコシステム競争が激化しています。日本でも、内閣府の「総合イノベーション戦略2019」\*4がスタートアップ・エコシステムの形成を含む7つの戦略を掲げています。\*5

\*4 内閣府 「総合イノベーション戦略2019」  
\*5 内閣府 「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」

## HISTORY

### 明治の近代都市化におけるソーシャル・イノベーション「京都策」は教育の改革から始まった

#### 全国初の学区制小学校創設は、町人出資から

明治2年、全国初となる学区制小学校(現在の公立小学校)64校が京都に開校。学校建設費と運営資金の多くは、地域内の全ての戸から平等に資金を集める「かまど金」と、有志の寄付金によりまかなわれました。地域ぐるみで、未来を担う子どもたちの教育に力を注いだのです。「番組小学校」と呼ばれた64校の校舎は、現在でいう公民館や役所、消防署、警察署、保健所などの役割も果たしました。

#### 産業復興のソーシャルイノベーション

明治3年に開設された理化学研究施設「舎密局」は、受講生を公募し、多くの技術者を養成しました。伝統産業品の改良や製造研究を行いながら、日本初となる石炭や鉄砲水(ラムネ)等の飲料、七宝、ガラスの製造など、新しい技術の開発と普及に努めました。教授として招かれたドイツのワグネル博士に師事した島津源蔵は、島津製作所を創業。医療用X線装置など産業の発展に大きく貢献しました。

#### 伝統産業の革新

明治2年には西陣物産会社が設立され、京都・西陣を立て直すために織物の伝習生をフランスへ派遣。伝習生は、海外からジャカード(紋紙を使う織機)をはじめとした最新機器と技術を持ち帰りました。生産効率と品質が向上し、各地での販路開拓にも取り組んだことで、幕末維新の不振から抜け出すことに成功。持ち帰った技術を全国に普及させ、西陣は日本絹織業において、近代的な技術革新の発祥地となりました。



▲ 番組小学校 | 京都市学校歴史博物館



▲ 京都市芸術大学 芸術資料館



▲ 島津製作所 | 国立国会図書館

## HISTORY

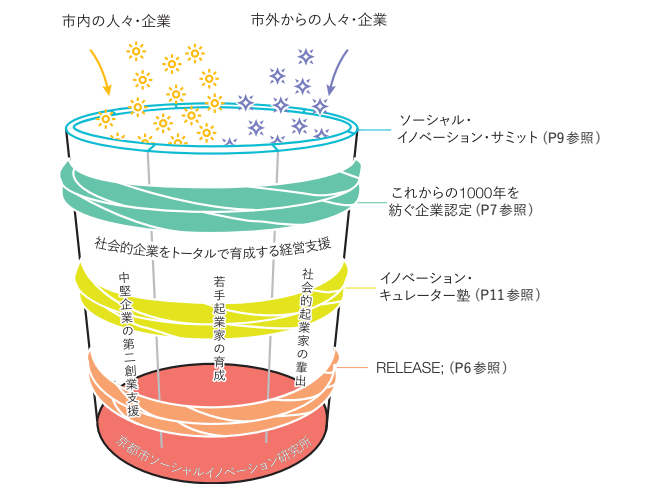
### 1000年を超える歴史を紡いできた、ソーシャル・イノベーション・シティ

平安京は渡来人協力の下、平和、安心、安寧をコンセプトに造られました。鍵で閉ざされた門や城壁はなく、国内外から多様な人が集い、力を合わせて活動する都。それが約1200年前の京都の姿でした。伝統と革新を融合し、新しい文化を創造し続けてきた京都の成り立ちには、オープンイノベーションを創発させる都市計画があったと言えます。

その後、中世の戦乱を経て、近世には文化や芸術を豊かに発展させた京都のまち。しかし、明治政府の樹立後、事実上の東京遷都により人口が激減し、都市存亡の危機に瀕します。そこで立ち上がったのはまちに暮らす人々でした。市民が丸となり、数々の産業復興、近代化の施策を繰り広げていったのです。

### 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想

『京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想』は、ソーシャル・イノベーションに取り組む市民・企業・NPO・大学などの多様な組織や個人、それらを応援する人々が、社会的課題の解決や、そもそも課題を生まないための挑戦をすることで、「過度の効率性や競争原理とは異なる価値観」を広めていく構想です。京都から日本の未来を切り拓いていくことを目指しています。



多様な主体を生み、育て、誘致する「桶」のイメージです。桶を構成する「立板」部分は「社会的企業をトータルで育成する経営支援」を、立板を締める「箍(たが)」部分は「立て板部分の支援策と複合的に連携する支援策」を表しています。

### 京都市ソーシャルイノベーション研究所 (SILK)

自ら物事を進んで行う「町衆の文化」と伝統を守りながら、革新を繰り返し、1000年以上の歴史を紡いできた京都。日本全国、さらには世界から、ソーシャル・イノベーションの創出に挑戦する人々がこの地に集まってきています。京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)は、ソーシャル・イノベーションに取り組む企業や個人を応援する人々と共に、日本と世界の未来を切り拓いていく『京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想』を実現するために生まれた産業支援組織です。

### 公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)

科学技術の振興と地域社会の発展に寄与するとともに、中小企業に対する総合的な支援を行い、京都市内の中小企業の振興と地域経済の活性化を図る機関です。





広がる場

## 持続可能な 社会の生態系をつくる

### 京都・地域企業応援プロジェクト

#### 京都市地域企業未来力会議



2016年より延べ1,511人もの多様な業種の若手・中堅経営者等が集まり、領域を横断するようなビジネスやアイデアの共有を行ってきた未来力会議。2018年には「京都・地域企業宣言」が発表されました。企業の規模を基準とせず、地域との繋がりに着目した全国初の宣言は、新しい時代をつくる旗印として大きな可能性を秘めています。

#### 地域企業宣言 (抜粋)

わたしたち地域企業は、

- 一、自助努力や各企業の連携・融合により社業の持続的発展を追求する。
- 一、生活文化の継承、安心安全、地域コミュニティの活性化に貢献する。
- 一、働きがいや社会に貢献する喜びを大切に、若者をはじめ多様な担い手の活躍を支援する。
- 一、受け継いできた文化や知恵、技術を学び、新たな価値の創造に挑戦する。
- 一、森や水の恵みを活かし、暮らしを支える豊かな自然環境の保全に寄与する。

全文はこちら ▶



#### 地域企業応援会

つながる知恵。ともに拓く未来。

地域企業応援会は、“市内に本店を有する事業者”であれば誰でも申し込むことができ、経営者も従業員も同様に、1時間という枠の中で「新たに取り組みたいビジネスアイデアやプロジェクト」の具体化・実現に向けて、幅広い知見を持ったビジネス・コーディネー

ターからヒントを得られる機会です。また年間を通して、繰り返し応援会に申し込めるため、地域企業は課題を共有し合うことができます。志を共にする企業間連携がいくつも生まれています。

革新的でクリエイティブなアドバイスを心がけ、考えを整理しながら、企画に込められた思いや悩みの背景にある様々なブレークスルーポイントを明らかにしていきます。固定概念に囚われない発想を歓迎し、京都にとって、未来にとっても良いビジネスがたくさん育まれることを願っています。



(一社)リリース 共同代表  
風間美穂さん



#### 京都オーガニックアクション

持続可能な農と食のありかたについて考える、100人を超える生産者、流通業者、研究者の集まりから、遠隔地の農産物を都市部へ運ぶ共同便が生まれ、2018年には団体を設立。未来力会議を経て京都市で組合設立を検討しています。

京都オーガニックアクション協議会 理事長  
鈴木 健太郎さん



#### irodori

「働きたくても働けない人に働ける環境を」という理念で運営しています。多様性を活かした仕事や組織作り、より良い事業への新しい視点も助言で気付けることができ、何のための事業かを自分の中で再確認できたと感じます。

就労継続支援A型事業所 irodori 所長  
小島 拓也さん



#### 林業女子会

「林業女子会@京都」や公共団体等と連携して、京都の木の文化・おもてなしをテーマにツアーを1回実施しました。応援会では毎回、紙の上で図やキーワードを用いて考えの整理をしてもらえ、考えずにすぐ行動する自分を振り返ることができ難かったです。

(株)Hibana 代表取締役  
松田 直子さん



#### Kyoto Love. Kyoto

京都のコアな情報サイトを運営しています。SNSによりターゲット層が異なることや、サイトのデザインをどう変えるか相談しました。今していることが将来どのように役立つか、何を伝えたいかを再認識し、社内の結束力が強まりました。

サンケイデザイン(株) KLK編集部  
寺谷 ござえさん

#### SOCIAL IMPACT

京都市地域企業未来力会議の参加者数  
\*2016年8月～2020年3月時点

各回120～150名  
総合計 1,511名

地域企業応援会  
【2019年6月～2020年3月時点】  
各日8事業者  
実施回数 100回以上

地域企業輝き賞  
【2020年3月時点】  
表彰状授与 135事業者



#### 京都の知恵と技術が新しい挑戦を応援する共創の場

##### 主な連携機関

- 京都府
- 京都市
- 京都商工会議所
- 京都信用保証協会
- 日本貿易振興機構 (JETRO)
- 京都産業21
- 京都高度技術研究所 (ASTEM)

KOIN(Kyoto Open Innovation Network)は、新しい一歩を踏み出す人のための共創の場。京都経済センターの3階を舞台に人々の交流と協働を促進し、新たなビジネスを創出しています。ミーティングの場としての活用はもちろん、多様な知恵と出会うイベントの開催、事業相談や京都産業界全体での応援を可能にするコーディネーターの常駐など、新しい一歩を踏み出す人のための環境を提供しています。

#### 主催イベントシリーズ

##### 京都に選ばれ続ける企業経営を学ぶ全4回

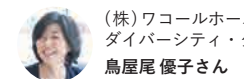
京都経済人が誇りに思うような歴史や実績を持つ企業の経営者をお招きし、100年を超えて続く企業が世界で最も多い街、京都ならではの経営の知恵を、対話によって紐解き、「京都の経営」を考える時間にしたいと考えました。



(株)ウエダ本社  
代表取締役社長  
岡村 充泰さん

##### 自分を生かして働くための全4回

企業に所属しながらも自分らしく働き、創造性を高め、豊かな人生を送れるような「働き方」を考えるシリーズ。参加者との対話によって、自らの働き方を丁寧に見つめ、これからの仕事を導くコンパスを探求する時間にしたいと考えました。



(株)ワコールホールディングス  
ダイバーシティ・グループ 人事支援室 室長  
鳥屋尾 優子さん

##### U35起業家育成プロジェクト

「これからの時代をつくる経済活動」を探求するシリーズ。起業家やスーパーノマドな働き方、SDGs、ITやARTなど様々なテーマで開催。令和時代を体現するゲストとともに、京都の明日をつくる集いとなりました。



(株)美京都 代表取締役  
中馬 一登さん

##### KOIN アクセラレータープログラム

「〇〇をやってみよう。」の具体化・実現に向けて、ビジネス・プロデューサーや起業家から助言やヒントを得られるほか、KOINスタッフが伴走し多様な連携機関とのネットワーキングを実施。アイデアの実現を応援しています。



(一社)リリース 理事  
前田 展広さん

#### RELEASE;<sup>®</sup>

RELEASE;は「未来が歓迎するビジネスをつくる」ための非常利型ビジネスプロデューサーカンパニーです。京都市地域企業未来力会議やKOINのように、パートナーとなる自治体や企業とともに、オープンイノベーションの手法を軸として、業態やブランド開発、商品やサービス開発、イベントやメディアづくりに至るまで、あらゆる領域でビジネスを共創し、多様性のあるエコシステムをつくります。

KOINの担うべき役割は、ビジネスプレイヤーの夢を京都経済センターに集う多様な産業支援機関へとつなぐだけでなく、数多くの老舗企業や世界的な企業を育む京都の有する経済文化とつなぐこと。KOINという愛称には「京都の生み出す価値は、COIN (貨幣) だけではない」という想いが込められています。



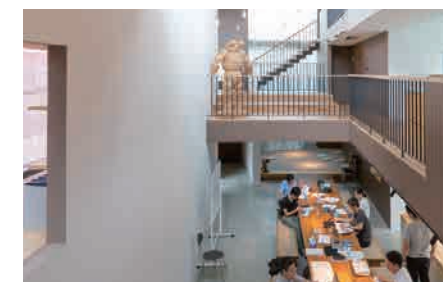
(一社)リリース 共同代表  
桜井 尚典さん

#### OTHERS 市内のスタートアップ・エコシステムの広がり



##### Plug and Play Kyoto

世界トップレベルのグローバルベンチャーキャピタル/アクセラレーターとして、日本で2つ目となる拠点を京都市に開設。京都を世界有数のスタートアップ・エコシステムの場にすることが私たちのミッションです。



##### toberu

社会課題の解決が利益と社会的インパクトを同時に追求する21世紀型起業を支援する株式会社フェニクシー。企業を籍者を受け入れるレジデンス併設インキュベータ"toberu"や新規事業育成ファンド等のエコシステムを提供。



##### (株)taliki

社会課題解決をビジネスにして育て、資金需要を満たす会社。社会起業家のアクセラレーションとファイナンスの要素を京都に補充し、上場企業や行政を含む全セクターのためのエコシステムを形成する。



##### 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会

経済団体、産業支援機関、大学、金融機関等と行政が一体となって、京都府全体で起業家を生み育てる環境整備を目指す。世界に伍するスタートアップ・エコシステムを推進するため、2019年12月に設立された。





### 未来を創造する思考とオープンイノベーション2.0

複雑化・多様化する社会における企業の役割の変化を受け、これからの企業に必要な思考を紐解く場。2019年は「未来を創造する思考とオープンイノベーション2.0」と題して、京都大学にて開催した。トークセッションでは、活動の中で芸術思考を体現する4名の方が「未来を創造する思考方法」をそれぞれの視点から語った。



ウスビ・サコ / 京都精華大学 学長  
木谷 哲夫 / 京都大学 産官学連携本部 教授  
小池 禎 / オムロン(株) イノベーション推進本部デザイナー  
矢島 里佳 / (株)和える 代表取締役

### QUESTION 京都拠点を新設された皆さん、京都はどんな街ですか？

#### (株)テムザック

「起業のまち、京都」で、多くの声援を頂いています

京都ブランドに助けられて、ロボットの新規開発相談が増えています。「前例がないから面白い！」をコンセプトに、様々なニーズに応え、まだ見ぬカタチ「0(ゼロ)から1(イチ)の「X-ROID」をつくり続けていきます。

中央研究所 所長  
清水 昌樹さん

#### LINE(株)

関西圏の優秀な人材との接点を増やすことができる

関西圏で動く技術力が高いエンジニアや、周辺の大学でコンピューターサイエンスを学んでいる学生とのタッチポイントとなっています。また、大学機関などとの近さを活かし、AIやインフラ分野をはじめとした共同研究にも力を入れています。

京都開発室 副室長  
御代田 亮平さん

### OTHERS その他の取組

#### 水俣からつなげる地域商社の取組



#### 認定企業とのコラボレーションで熊本の事業者連携が加速

水俣市の牡蠣や蛸で(株)カンブレイトと缶詰試作を繰り返し、2019年には熊本県で“富士子ベーコン”を営む事業者とのコラボレーションが実現。菊池市のやまあい村「走る豚」ともベーコンの缶詰が完成間近。

商売に対する熱意や想いに共感した事業者の方々と、京都と一緒に商品開発ができて嬉しです。市外との交流で気づかされることも多くありますので、今後も水俣内外を結び、食から人を幸せにする地域商社を目指します。

みなまる(株) 代表取締役社長  
笹原 明さん

### SOCIAL IMPACT

ソーシャル・イノベーション・サミットに参加した自治体・個人は

36 都道府県  
151 市区町村  
998 名



【2015-2019年度累計】

### 京都から起こすうねりが、大きな波となり社会の潮流をつくりだす

地域や社会が抱える課題に対し、革新的なアプローチで効果的・持続的なソーシャル・イノベーションに取り組んでいる方々が全国から集結。自治体や中間支援団体の皆様と先進事例を共有し、地方創生を推進する全国的なネットワークを形成することを目指して、2015年から実施しています。京都市の動きに呼応する形で他の地域でも同様のサミットが開催されるまでになりました。2019年には「芸術思考」を紹介するなど、イノベーション創出のための考え方や世界の潮流を発信しています。



京都市 ソーシャル・イノベーション創出支援係長  
筒井 昭彦さん

#### Sansan(株)

グローバル人材や優秀な学生が集まる場

京都は弊社クラウド名刺管理サービスの事業の中核を担う、非常に重要な拠点の一つです。グローバル人材や優秀な学生が集まる京都で、拠点を交流の場としても活用し、京都発信のイノベーションを後押ししていきます。

取締役  
常楽 諭さん

#### (株)グランディユー

他業種とのコラボが多く行政によるひきこもり支援も厚い

公的資金に頼らず、障害や生きづらさを抱える人たちと一緒に働く場を堺市で2014年に開業し、2年前には京都でビーズサロンを設け、今春カフェをオープンします。次は京都から企業へのハンズオン支援事業をスタートさせます。

代表取締役  
小笠原 恭子さん

#### ROOTS (コミュニティ・ツーリズム事業)



#### 世界の教育機関とつながる Study Trip

世界中の学生や専門家を招いた教育プログラムを、京都市京北地域で企画運営。地域の方々と社会課題を学び、解決に向けアクティブに動くStudy Tripを実践。森の京都、奈良県曽爾村、大阪府豊能町等で協働の取組が拡大中。

里山に住む、林業・農業・暮らしの達人「ローカルマイスター」が講師となり、里山のサステナブルな知恵と技を教えるスタディツアーです。地域の宝を再発見し、里山と世界が心の根で繋がる体験を提供しています。

(株)ROOTS 共同代表  
曾根 蘭さん

### 日本全国への広がり



#### 水俣市 | 四方よし経営の学び舎

環境や未来など、目には見えないところにも配慮した良い経済をまわそうと、地域をリードする経営者育成を目指した経営塾。5年の歳月で“四方よしコミュニティ”が育まれ、京都との連携や新規事業、創業など変革への動きが活発化。



#### 仙台市 | SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT

震災を経て課題がより顕在化した仙台・東北で、「社会、地域のため」という想いをもって課題解決にチャレンジする社会起業家たちの声を聴き、彼らと想いを共有し、つながりを深めていくイベント。2018年から実施。



#### 大阪市東成区 | ひがしなりソケット

京都のサミットをきっかけに、2018年度からオープンイノベーションの手法を用いて、企業・市民・団体等が持つ知見やリソースを織り交ぜながら、まちの活性化やSDGs達成に向けた取組を民間主導で実施。



#### 長野県飯山市 | IIYAMA GOOD BUSINESS

CSIアドバイザーメンバーの(一社)リリースと共に、若手事業者が取り組んでいきたいビジネスやアイデアの種を見つけ、プランにまとめ、実現に向けた後押しを行う。スローガンは「「生きる」を選べる地域に”。

### 公立大学法人長野県立大学 ソーシャル・イノベーション創出センター(CSI)



#### 挑戦するエコシステムを

学生のみならず社会人を含め、ソーシャル・イノベーションに挑戦する人材を育て、支援する。日本中から集うイノベーターと地域や企業、教員、学生を相互に結びつけ、事業支援や起業支援を行う。若者がここで暮らし働きたいと思うような仕事や企業を一つずつ増やしながら、社会課題を生まない持続可能な世界の構築を目指す。



社会人育成を行う信州ソーシャル・イノベーション塾を開設

SILKから大室、秋葉が着任してスタートしたCSI。学生が作成した“ここからエシカルMAP”や信州ソーシャル・イノベーションフォーラム2019を通じて、京都と長野の企業コラボレーションも生まれています。

チーフ・キュレーター  
秋葉 芳江さん

### OTHERS その他の取組

#### 未来の西京まち結び~みらまち結び~



やりたいことを実現している人がイチバン多い区に！

まちの人たちと行政が協力して地域課題の解決に取り組む、京都市西京区のまちづくり事業。イベントを通して一人ひとりの“やりたいこと”からプロジェクトが生まれ、実現に向けての相談会やスタディツアーを開催した。

みらまち結びを通じてユニークな方々にお会いしました。個々のユニークな部分を融合して、「新しい京都の一面を西京区に作りたい」と日々考えております。これからも、西京区をパワーアップさせていただきます！

西京区役所 まちづくり推進担当  
事業係長  
木村 桂子さん

#### SOU-MU NIGHT



組織のバックオフィス業務を担う人やそれを支援する人が集まり、お互いの仕事を学び合い、未来の総務のあり方について語り合う場。素朴な悩みからIT化、効率化まで様々なテーマが飛び交い、チャットツールでの継続した交流から新たな活動が生まれている。参加者が積極的に運営に携わり、京都・東京を中心に活動を拡大中。

#### とよのわたし研究室



わたしが変われば、地域が変わる。内発的イノベーションの地域づくり

大阪府豊能町で2017年に女性活躍室が発足し、翌年に「とよのわたし研究室」がスタート。一人ひとりの“これからのわたらしい生き方”を研究する講座に、これまで25名の住民・職員が参加した。

京都の(一社)こころ館さんのプログラム「わたし研究室」を人材育成事業に導入しました。受講した方が起業したり、市民団体が立ち上がったりと、自分らしく地域を変革する住民さんの増加を実感しています！

豊能町住民人権課 女性活躍室  
南 小百合さん

#### KUMIKI PROJECT



神奈川県の参加型リノベーションプロジェクトが京都市内に広がり、場に関わる人たちが共に空間をつくるワークショップを開催。事業の発端は東日本大震災後、岩手県陸前高田市での集会所作りだった。京都市下京区の(株)ウエダ本社との協業では、鍼灸整骨院の社員と家族に加え、町に暮らす人との関係性を繋ぐ共創型のお店づくりが実現した。



**SOCIAL IMPACT**

これまでにイノベーション・キュレーター塾生が「身につけた学び」を提供した企業数・人数

488社

6,528人

**イノベーション・キュレーター塾**

社会的課題とビジネスをつなぐ支援者を増やし、持続可能な社会の実現を目指す

キーワード	
俯瞰	価値の創出
本質	SDGs
	エコシステム 多様性
アート思考	バックキャスト
	意味付けを変える
つながり	デザイン思考

社会の課題を「自分ごと」として捉え、ビジネスや組織をイノベティブに導く人を育成する塾。目の前の課題を解決するだけでなく、事業者の目指す未来へ向けて伴走する力を身につけ、社会的課題の解決と課題を生まない社会の実現を目指す。

フェアトレード普及の実践者である塾長のもと、塾生は10ヶ月間、学びと実践を繰り返し、多様な視座を養う。経営者、士業やコンサルタント、組織内で戦略立案を行う人、起業家など、様々な立場の人がイノベーション・キュレーターになることで、企業の社会との向き合い方を変えていく。

**視座を高く持ち、自らの実践を加え、社会を動かす**

2015年にスタートしたイノベーション・キュレーター塾。「俯瞰して情報を拾い上げ、新たな未来を創るための価値観を創出しビジネスに実装する人材」を輩出し、卒業生たちは現在様々なフィールドで活躍しています。しかし、複雑化する社会課題は、地球規模で顕著化し、資本主義経済の限界に多くの人が気付いています。従来型の問題解決や発想を飛び越えてイノベーションを起こしていく人材を、共に学びながら、育成していきます。



塾長 (株)福市 代表取締役 高津 玉枝さん

**自分で社会を変えようとするのではなく、みんなで作る。**

自身の行動が社会に影響を及ぼしていると感じ、広い視野で物事を捉えられるようになりました。多くの人が自発的に社会を良くする動きをしやすくなればと考え、働く環境を整える事業をさらに推進していきます。



(株)アイトーン 代表取締役 篠田 拓也さん

**毎月塾に通えたことが最大の成果だったと今は思います**

塾に通っていた10か月は、個性豊かな同期と、毎月、過去・現在・未来を行ったり来たりしながら人生を考え続けた日々でした。卒業後は、これまで以上に自分で考え、思うとおりに行動できるようになったと感じます。



鳥取県庁 河野 小夜子さん



**共創リーダーシップ・ファシリテーション塾**

解くべき問いをたて、想いを引き出し、新しい組み合わせを引き起こす、新しいリーダーシップを学ぶ塾。安心して失敗できる場での実践演習を通して、共創の場の設計と運営スキルを6日間のプログラムで身につける。



**学び場 とびら**

人生を豊かにする学びを得るために、本物に出会うこと、生き方について考えること、自らやってみることをコンセプトに作られたシェアスペース。オープン参加の毎日1時間朝礼など、多様なチャレンジを実施中。



**A-KIND 塾**

「思い」を「事業」にする 技術を学ぶための塾

いづれも、持続可能社会に貢献していく「思い」を「事業」にする技術を学ぶための塾。社会のあらゆる事象を掘り下げる視点の提供から始め、同期との研鑽、卒業生とのつながりを経て、自らがセーフティーネットと言えるコミュニティを体感し、事業に磨きをかけていく。持続可能な未来を目指して事業をする全ての人を「社会事業家」と見なし、民間向けを「A-KIND塾」、公務員向けを「未来設計実践塾」として開講。両塾の卒業生交流から、民間共助の動きが生まれ始めている。



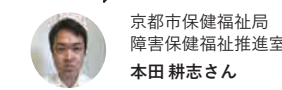
**未来設計実践塾**

より良い社会を築くための大人が学ぶ塾

A-KIND塾では、塾長の経営者・商人としての豊富な経験から様々なことを学びました。仲間とともに社会事業を実践できたことも有意義でした。塾での学びや人との縁をきっかけとして、私は新たな仕事に取り組んでいます。



&MARKET 矢野 信也さん



京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室 本田 耕志さん

**孤立を生まない社会を目指す**

行き過ぎた金融資本社会の下では、格差や孤立によって苦しむ人が増え続けるとの問題意識から、お金を介さず人と人が助け合う関係性も暮らしで生かされる社会を目指して12年目。無利子・無担保・無保証融資や助成、社会事業塾によって、問題の解決に向かう社会事業家を応援してきました。また、当財団各種事業参画者と助け合いのコミュニティをつくっていくことで、孤立を生まないセーフティーネット構築を自ら試行しています。



塾長 (公財)信頼資本財団 代表理事 熊野 英介さん

**公益財団法人 信頼資本財団**

人間関係や自然との関係が資本になる信頼資本社会を目指し、無利子・無担保・無保証による融資や市民の皆さまの共感を集める助成制度により社会事業を応援する。

**SOCIAL IMPACT**

信頼資本財団のコミュニティ

\*累計(2019年末)

無利子融資先 ..... 37団体  
助成先 ..... 64団体  
知恵見登録者 ..... 556名  
卒業生 ..... 120名

**OTHERS** 京都市内の学ぶ場の広がり



**京都大学 | 技術イノベーション事業化コース**

起業家や新規事業担当者を対象に、京都大学の研究成果とのマッチングを行い、事業化プランを作成。最新技術やアイデアを用いて社会課題を解決する事業創出を促進し、投資家へのプレゼンまで実施する。



**龍谷大学 | ユネスコソーシャルビジネスリサーチセンター**

仏教の観点で持続可能な社会を考え、地域と共にソーシャルビジネスを推進するための研究と共同事業、人材育成を行う。世界に80以上あるセンターと連携し、若い世代の志を活かす事業の発展に注力する。



**京都府立桂高等学校 | 高校生ビジネスプラン・グランプリ**

高校生ビジネスプラン・グランプリに第1回(2013年度)から7年連続出場し、うち6回は準グランプリなどを受賞。2018年にはバナナの皮から自然農薬を開発し、フィリピンの社会課題の解決策と共に発表した。



**同志社大学 | 日本ソーシャル・イノベーション学会**

「ソーシャル・イノベーション学の創発」というテーマを掲げ、発展途上にある「ソーシャル・イノベーション学」がどのような価値を生み出せるのか、どのような役割を担えるのか、その存在意義と可能性を議論する場。

**OTHERS** その他の取組



**素材から学ぶくらしの学校**

「これからの1000年を紡ぐ企業認定」の認定企業が、素材提供や講師としてプログラムに参加する京都市のエンカル消費啓発事業。小学生を対象に「素材から学ぶくらしの学校」として3年間開催。



**京の企業「働き方改革チャレンジプログラム」**

多様な人材が能力を発揮し、成長できる働き方とは。経営者と従業員が対話を重ねながら、先進事例のインプットと社内での実践を繰り返す取組。一人ひとりが「自分ごと」として、本質的な働き方改革に挑戦した。



**共創リーダーシップ・ファシリテーション塾**

解くべき問いをたて、想いを引き出し、新しい組み合わせを引き起こす、新しいリーダーシップを学ぶ塾。安心して失敗できる場での実践演習を通して、共創の場の設計と運営スキルを6日間のプログラムで身につける。



**学び場 とびら**

人生を豊かにする学びを得るために、本物に出会うこと、生き方について考えること、自らやってみることをコンセプトに作られたシェアスペース。オープン参加の毎日1時間朝礼など、多様なチャレンジを実施中。



**sisam cinema**

社会課題をテーマにした映画の上映会を、毎月1回店舗で開催。参加者同士が感想を共有する時間を設け、フェアトレードやシリア内戦、児童労働など、世界の様々な問題について考えるきっかけを提供する。



**aeru school**

子どもから大人まで、日本の伝統技術や素材に触れ、暮らしの中での観察力や言葉にする力を磨く教室。ワークショップなどの体験を通して、これからの時代に必要なクリエイティブな問題発見能力を身につける。



**マザーハウスカレッジ**

情熱を高め合い、その情熱を実現するために必要な思考を鍛え合う場。社会変革に挑戦し続けているスピーカーとのトークセッションから、理念とビジネスを両立させるための、社会に対する視点や戦略を学ぶ。



**ワコールスタディオール京都**

女性の「美」を軸に、食、暮らし、運動など様々な講座を開講。ライブラリー・コワーキングスペースとギャラリーを併設し、見た目だけでなく感性や知性、社会のありように至るまで、未来へ向けて多様な美を学ぶ場。





## SILKの作り方

枠組みを決めない伴走支援を行います。多様性を保持するための「3つの方針」をもとに、多様な人・組織との関わりを広げ、オープンイノベーションを促進します。

### 1. 支援メニューをもたない

SILKは固定の支援メニューを持ちません。最初に決めた手法や数値目標の達成にとらわれず、常に問いを持ちながら、事業者や社会の状況に合わせて支援のあり方を変化させていきます。支援を通して、社会課題や未来のあり方など、まだ誰も正解を持っていない問いについて一緒に考える場を創出します。

### 2. 一人ひとりが力を発揮できる状況をつくる

コーディネーターの職業は、税理士、中小企業診断士、コンサルタント、研究者、クリエイター、まちづくりに関わるプランナーなど様々。さらにアドバイザー等に京都市内外のメンバーを迎え、一人ひとりが活躍できる環境をつくっています。SILKという場を起点に、メンバーそれぞれのプロジェクトが広がっています。

### 3. 協業を促し、クラスター化を促進する

「ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」をもとに、オープンイノベーションによるプロジェクト開発を支援。SILKが主催するのではなく、行政の各部署や地域企業、教育機関の連携を促します。京都はもとより全国にソーシャル・イノベーションを広げる活動をしています。

## SILKの事業相談会



予約制の事業相談会。社会的な事業やプロジェクトの開発のほか、対話を通じて、叶えたい未来を実現するために人や組織をつなぐコーディネート支援を行います。(毎月開催/事前予約制)

## SILKオープンデー



京都市内のどこかで不定期開催中。どなたでもお気軽にお越しください。

## SILKへの視察 / 視察先のコーディネート



京都市の取組やSILKの活動について、京都のソーシャル・イノベーションのエコシステムについてなど、視察の受け入れを随時行っています。支援先の事業者訪問を交えた視察などをご希望の場合は、ご予算に応じて企画させていただきます。

\*詳しくはSILKホームページをご覧ください。

## ABOUT US

名称 公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)  
設立 1988(昭和63)年8月9日(京都府知事認可)  
理事長 西本 清一  
担当部署 京都市ソーシャルイノベーション研究所 (SILK)

Email [silk@astem.or.jp](mailto:silk@astem.or.jp)  
TEL 075-366-5527  
FAX 075-366-5529  
URL <https://social-innovation.kyoto.jp>

WEBサイト



FACEBOOK

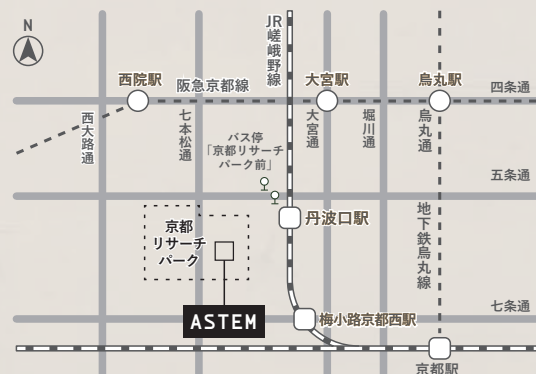


## ACCESS

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地

電車 JR嵯峨野線 丹波口駅より徒歩5分  
阪急西院駅または大宮より徒歩15分

バス 市バス、京阪京都交通バス 京都リサーチパーク下車  
京都バス 五条千本 下車 徒歩2分



## MEMBER

※2020(令和2)年4月現在

### 【所長】

大室 悦賀

### 【アドバイザー・フェロー等】

高津 玉枝 / 桜井 肖典 / 秋山 怜史 / 志野 元信 / 杉原 恵 / 高本 昌宏 / 但馬 武 / 福富 雅之 / 山中 はるな

### 【事務局長】

菅野 周二

### 【次長】

井上 陽平

### 【イノベーション・コーディネーター】

秋葉 芳江 / 石井 規雄 / 井上 良子 / 木村 響子 / 阪本 純子 / 田中 慎 / 前田 展広

### 【コンシェルジュ・広報】

川勝 美智子 / 石田 尚子 / 具志堅 陽子 / 柴田 明